



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4220 URL <https://www.rikentechos.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	24,555	4.3	1,378	△8.2	1,396	△12.2	725	△14.6
2019年3月期第1四半期	23,546	3.1	1,501	12.7	1,591	17.2	849	39.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,232百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △9百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	11.16		10.88	
2019年3月期第1四半期	13.25		12.75	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	95,768		56,518		51.4	
2019年3月期	95,207		56,478		51.4	

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 49,248百万円 2019年3月期 48,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2020年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	5.8	2,800	3.5	2,800	0.8	1,300	△19.1	20.01
通期	105,000	7.3	6,500	12.8	6,500	10.7	3,700	20.9	56.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	66,113,819株	2019年3月期	66,113,819株
2020年3月期1Q	1,125,463株	2019年3月期	1,144,315株
2020年3月期1Q	64,976,880株	2019年3月期1Q	64,114,021株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当期四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産活動において弱さが見られましたが、設備投資や個人消費などが緩やかな増加傾向となっており、全体としては緩やかな回復傾向となりました。

海外では、米国経済は個人消費や設備投資の増加により着実に回復が続き、欧州経済は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しております。中国経済は米中貿易摩擦などによる先行き不透明感の影響もあり緩やかな減速傾向となりました。

産業別には、国内の自動車業界は、販売を増やしました。建材業界は、住宅着工件数が微減となりました。家電業界は、消費者の省エネ製品・高付加価値製品に対する堅調な消費マインドにより、国内出荷金額を伸ばしました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で市場別に顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。

その結果、売上高は24,555百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)4.3%増)、営業利益は1,378百万円(前年同期比8.2%減)、経常利益は1,396百万円(前年同期比12.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は725百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

なお、当連結会計年度から新たにスタートした中期経営計画の戦略を遂行し、これまで以上に変化のスピードが加速していく市場のニーズを的確にとらえるため、グローバルでのマーケットに対応させた組織に改組いたしました。

この組織の変更に伴い事業セグメントの区分方法を見直し、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の製品別の「コンパウンド」「フィルム」「食品包材」から、市場別の「トランスポートーション」「デイリーライフ&ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング&コンストラクション」に変更しております。当第1四半期連結累計期間のセグメント別の比較及び分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。

(各報告セグメントの名称、略称、対象とする主要な市場)

- ・トランスポートーション(Transportation)【TR】… 自動車、鉄道、船舶市場等
 - ・デイリーライフ&ヘルスケア(Daily Life & Healthcare)【DH】… 医療、生活資材、食品包材市場等
 - ・エレクトロニクス(Electronics)【EL】… エネルギー、情報通信、IT機器市場等
 - ・ビルディング&コンストラクション(Building & Construction)【BC】… 住宅、ビル、建築資材、土木市場等
- (注)【】は、報告セグメントの略称

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[トランスポートーション]

国内では、自動車市場が堅調に推移し、同市場へのエラストマーコンパウンドの販売が増加し、全体として増収となりました。

海外では、米国及び中国において自動車市場の低迷を受けて、塩ビ・エラストマーコンパウンド共に低調に推移しましたが、タイ国及びベトナム国の自動車市場への塩ビコンパウンドの販売が好調に推移し、海外全体では増収となりました。

セグメント損益につきましては、国内に増設した新ラインの稼働に伴うコスト負担及び原材料価格の改定と製品価格改定のタイムラグの影響もあり減益となりました。

その結果、売上高は7,550百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益は618百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

[デイリーライフ&ヘルスケア]

国内では、食品包材分野、家電分野でのフィルム及びチューブ・ホース分野での塩ビコンパウンドの拡販が進み、増収となりました。

海外では、タイ国及びインドネシア国の医療分野及び食品包材分野における塩ビコンパウンドの販売の低迷及び拡販の遅れにより減収となりました。

セグメント損益につきましては、タイ国及びインドネシア国での販売数量減により減益となりました。

その結果、売上高は5,726百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は398百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

[エレクトロニクス]

国内では、オリンピック・首都圏再開発需要の取込みによる塩ビ・難燃ポリエチレンコンパウンドの販売増及び太陽光発電・光通信分野でのエラストマーコンパウンドの拡販により、増収となりました。

海外では、塩ビコンパウンドが中国での景気減退による設備投資の落ち込みにより販売が減少しましたが、米国での電力電線向けの販売が増加し、海外全体では増収となりました。

セグメント損益につきましては、中国での販売数量減及びインドネシア国での原材料価格の改定と製品価格改定のタイムラグの影響により減益となりました。

その結果、売上高は5,359百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は186百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

[ビルディング&コンストラクション]

国内では、新築住宅着工件数が低迷する中で、非住宅分野でのインテリアフィルムの新意匠の採用による販売増及び昨年子会社化したデザイン会社の売上への寄与もあり増収となりました。

海外では、北米及びASEANでの塩ビコンパウンドの販売が回復し、また北米のインテリアフィルムの販売が堅調に推移し、海外全体では増収となりました。

セグメント損益につきましては、国内での原材料価格の改定に伴う製品価格の適正化及び全体の数量増により増益となりました。

その結果、売上高は5,880百万円(前年同期比18.9%増)、セグメント利益は174百万円(前年同期比60.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は95,768百万円(前連結会計年度末比560百万円増加)となりました。これは主に棚卸資産が増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は39,249百万円(前連結会計年度末比520百万円増加)となりました。これは主に未払配当金が増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は56,518百万円(前連結会計年度末比40百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金等の株主資本が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月7日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,550,326	17,938,729
受取手形及び売掛金	26,020,053	25,275,857
商品及び製品	6,918,874	7,443,076
仕掛品	785,762	774,463
原材料及び貯蔵品	5,222,601	5,541,047
その他	1,408,509	1,486,273
貸倒引当金	△96,701	△94,527
流動資産合計	57,809,424	58,364,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,122,379	10,454,369
機械装置及び運搬具（純額）	9,543,445	10,036,716
土地	6,409,088	6,437,434
リース資産（純額）	36,105	32,597
建設仮勘定	699,155	224,671
その他（純額）	702,593	690,346
有形固定資産合計	27,512,767	27,876,136
無形固定資産		
のれん	100,221	55,567
リース資産	7,998	6,999
その他	1,696,276	1,594,076
無形固定資産合計	1,804,497	1,656,644
投資その他の資産		
投資有価証券	5,734,433	5,645,110
長期貸付金	48,255	47,058
退職給付に係る資産	565,739	592,341
繰延税金資産	421,434	427,904
その他	1,315,119	1,162,015
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	8,081,213	7,870,660
固定資産合計	37,398,478	37,403,441
資産合計	95,207,902	95,768,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,306,323	18,146,315
短期借入金	8,144,431	8,484,685
1年内返済予定の長期借入金	712,703	691,206
1年内償還予定の社債	800,000	800,000
リース債務	15,572	13,325
未払法人税等	712,389	449,092
賞与引当金	677,135	376,648
役員賞与引当金	103,007	21,911
その他	2,505,573	3,632,874
流動負債合計	31,977,136	32,616,058
固定負債		
長期借入金	4,120,063	3,949,593
リース債務	30,691	28,428
繰延税金負債	944,178	977,927
役員退職慰労引当金	141,291	116,766
役員株式給付引当金	158,100	173,038
退職給付に係る負債	959,810	988,268
資産除去債務	323,044	324,203
その他	75,117	75,511
固定負債合計	6,752,298	6,633,738
負債合計	38,729,434	39,249,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	7,371,821	7,371,821
利益剰余金	31,223,798	31,418,438
自己株式	△488,720	△478,349
株主資本合計	46,620,918	46,825,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,571,083	2,500,627
為替換算調整勘定	44,410	192,220
退職給付に係る調整累計額	△294,312	△270,720
その他の包括利益累計額合計	2,321,182	2,422,127
非支配株主持分	7,536,367	7,270,508
純資産合計	56,478,468	56,518,564
負債純資産合計	95,207,902	95,768,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	23,546,263	24,555,035
売上原価	19,142,876	20,109,719
売上総利益	4,403,387	4,445,315
販売費及び一般管理費	2,901,966	3,066,943
営業利益	1,501,420	1,378,371
営業外収益		
受取利息	5,391	11,928
受取配当金	70,722	73,334
為替差益	47,809	—
その他	16,564	43,297
営業外収益合計	140,488	128,561
営業外費用		
支払利息	48,752	63,060
為替差損	—	33,640
その他	1,739	13,720
営業外費用合計	50,491	110,421
経常利益	1,591,416	1,396,511
特別利益		
固定資産売却益	2,965	2,019
投資有価証券売却益	—	18,800
特別利益合計	2,965	20,819
特別損失		
固定資産売却損	19	2,190
固定資産除却損	11,725	2,092
特別損失合計	11,745	4,282
税金等調整前四半期純利益	1,582,637	1,413,049
法人税等	380,697	393,555
四半期純利益	1,201,940	1,019,493
非支配株主に帰属する四半期純利益	352,429	294,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	849,510	725,247

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,201,940	1,019,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267,359	△69,976
為替換算調整勘定	△963,630	259,795
退職給付に係る調整額	19,280	23,592
その他の包括利益合計	△1,211,709	213,410
四半期包括利益	△9,769	1,232,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,300	826,192
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,469	406,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	7,385,729	5,905,081	5,279,534	4,943,308	23,513,654	32,609	23,546,263	—	23,546,263
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	9,594	9,594	60,648	70,243	△70,243	—
計	7,385,729	5,905,081	5,279,534	4,952,903	23,523,249	93,257	23,616,507	△70,243	23,546,263
セグメント利益又は セグメント損失(△)	736,130	438,034	197,046	108,700	1,479,912	65	1,479,977	21,442	1,501,420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等でありませ

す。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去21,442千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	7,550,152	5,726,647	5,359,323	5,880,065	24,516,188	38,846	24,555,035	—	24,555,035
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	7,876	7,876	149,323	157,200	△157,200	—
計	7,550,152	5,726,647	5,359,323	5,887,942	24,524,065	188,170	24,712,235	△157,200	24,555,035
セグメント利益又は セグメント損失(△)	618,179	398,848	186,117	174,505	1,377,651	11,854	1,389,505	△11,133	1,378,371

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等でありませ

す。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△11,133千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度から新たにスタートした中期経営計画の戦略を遂行し、これまで以上に変化のスピードが加速していく市場のニーズを的確にとらえるため、グローバルでのマーケットに対応させた組織に改組いたしました。

この組織の変更に伴い事業セグメントの区分方法を見直し、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の製品別の「コンパウンド」「フィルム」「食品包材」から、市場別の「トランスポーターション」「デイリーライフ&ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング&コンストラクション」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの名称、略称、対象とする主要な市場は次のとおりであります。

- ・トランスポーターション(Transportation)【TR】…自動車、鉄道、船舶市場等
- ・デイリーライフ&ヘルスケア(Daily Life & Healthcare)【DH】…医療、生活資材、食品包材市場等
- ・エレクトロニクス(Electronics)【EL】…エネルギー、情報通信、IT機器市場等
- ・ビルディング&コンストラクション(Building & Construction)【BC】…住宅、ビル、建築資材、土木市場等

(注)【】は、報告セグメントの略称